

記者発表資料

「羽田空港第1・第2ターミナル駅引上線」工事に着手しました。

関東地方整備局、東京航空局及び京浜急行電鉄株式会社(以下、京急電鉄)は、羽田空港第1・第2ターミナル駅で列車の入れ替えを行う引上線の工事に着手しました。

引上線の整備にあたって、同駅から第2ターミナルへの連絡通路の一部を撤去する必要があることから、まず工事期間中の歩行者動線を確保するための仮切り回し通路の整備を進めます。

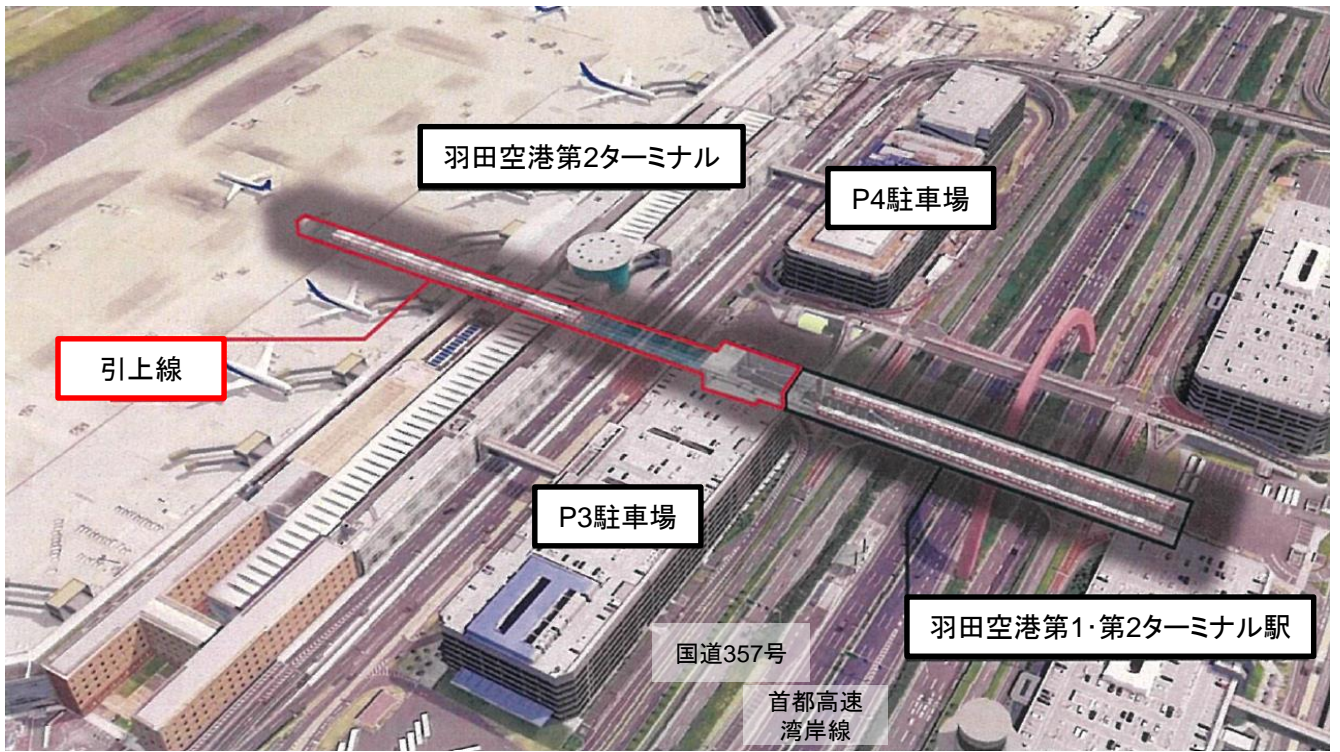
引上線の整備は、羽田空港の国際競争力の強化に向けた空港機能の拡充に資する取り組みとして、鉄道基盤施設※¹は関東地方整備局、鉄道施設※²は京急電鉄が整備することとしており、相互に協力して進めています。

品川駅の2面4線化と合わせて引上線を整備することで、輸送力を増強(1時間当たり片道3本増)し、羽田空港アクセスの利便性向上を図ります。

※¹ 「鉄道基盤施設」は、トンネル躯体及び躯体に付帯する通路・階段をいう。

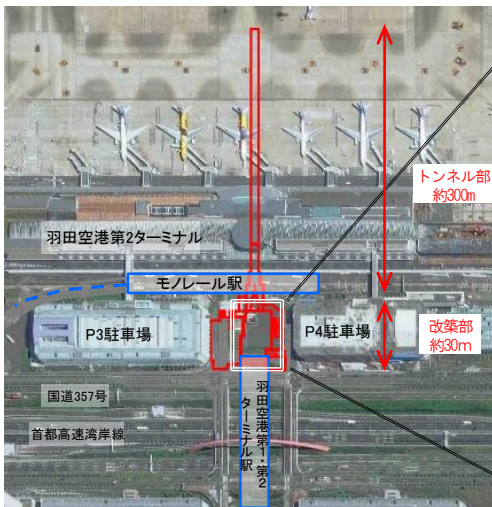
※² 「鉄道施設」は、軌道、ホーム等をいう。

○羽田空港第1・第2ターミナル駅引上線イメージ

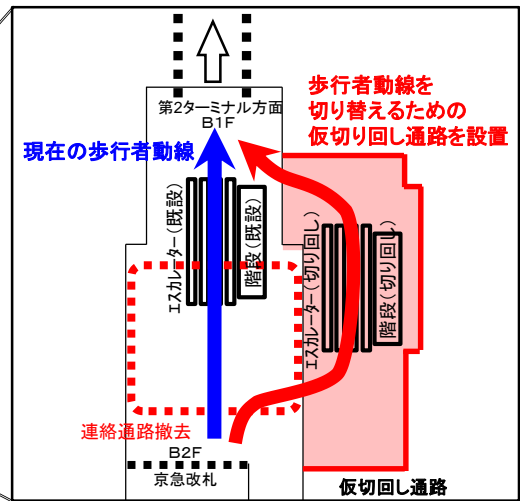


○連絡通路部仮切り回し通路の概要

【平面図】



【仮切り回し通路平面図】



※令和7年度頃に現在の歩行者通路(青線)から仮切り回し通路(赤線)に通路が変更になります。